

《あらすじ》

一、『播州皿屋敷』 一幕

細川巴之介家の家老浅山鉄山は、天下を狙う山名宗全と通じ、邪魔になる巴之介暗殺を企てます。將軍家に献上する唐絵の皿十枚を届けに来た腰元お菊に、横恋慕していた鉄山が言い寄りますが、お菊にきっぱりとはねつけられます。悪事を知られた上に恋も叶わぬ恨みから、鉄山は皿を一枚盗んでお菊に罪を着せます。

ご当地、姫路城にまつわる有名な「皿屋敷伝説」を素材にした作品ですが、戦後の上演回数は少なく、非常に珍しい演目です。

悪事を知られた浅山鉄山が、お菊に無実の罪を着せて惨殺する嗜虐美が見どころの、大時代な怪談劇をお楽しみ下さい。